

環境調査における河川水の測定について（継続）

1 はじめに

昨年度第1回会議で河川水測定の是非についての提案があり、第2回の会議においてこれまでの経緯や調査結果の状況等を説明、第3回の会議において継続審議し、今後は測定終了を基本方針として、その決定時期および現処分場における測定終了の可否等について審議するとのことでした。

2 各意見

継続すべき	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、周辺農家の作業時期と大腸菌群数の関連性など、原因を特定した上で測定を終了した方が、地域の理解を得られやすいと思う。
-------	---

今後は不要	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質は不検出であり、大腸菌群数は自然由来の変動であることがわかっている。測定の意義がないことを理解してもらい、測定対象外とした方がよい。（過去には意味があったが、現在は目的を達し不要である。） 少なくとも毎年測定は不要と考える。 中園処分場分は不要。 現処分場に関しては、芳野川下流のみ測定すべき。 処理水のみ測定でよい。 処理水を測定していれば、河川水の測定は不要と思う。
-------	---

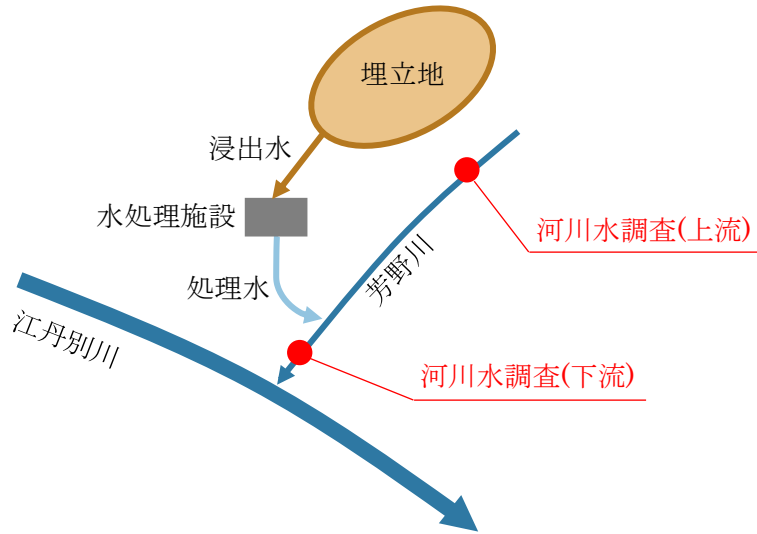
3 今後について

河川水測定に係る委員からのご意見は、上記のとおりです。

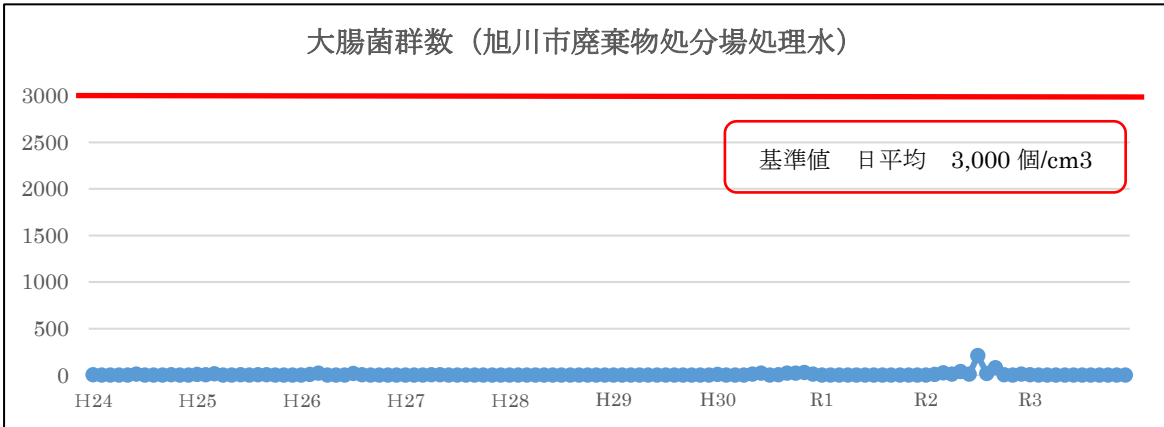
「不要」が「継続」を上回っていますが、「継続」意見の中に測定終了前のデータ分析の必要性、「不要」意見の中に現処分場の一部を残すべき等の意見があります。

各委員等からの意見をふまえ、あわせて河川水測定の実施の可否についてご審議いただきたい。

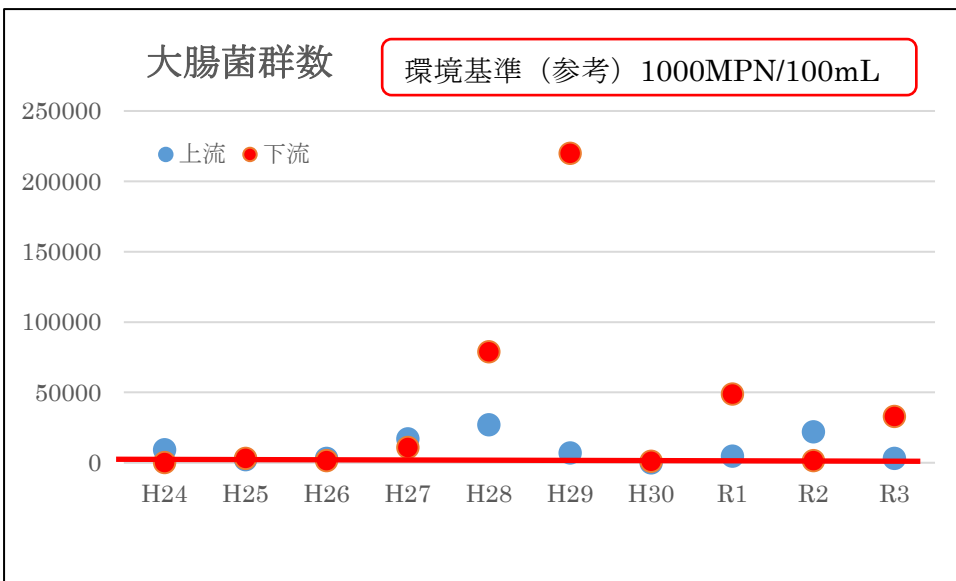
旭川市廃棄物処分場



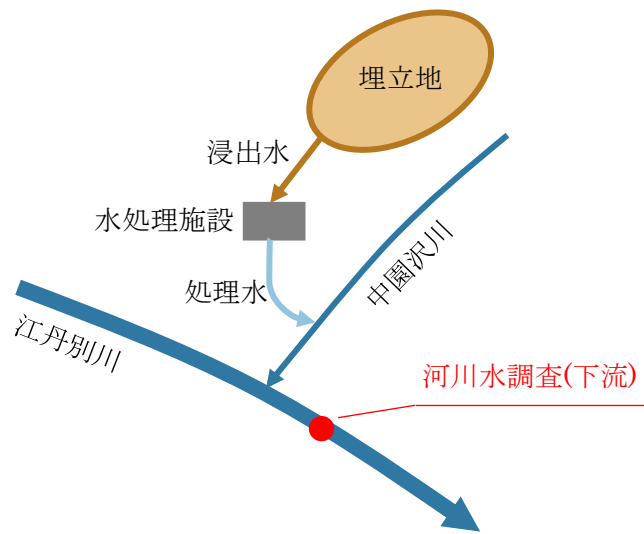
旭川市廃棄物処分場処理水



芳野川河川水



中園廃棄物最終処分場



中園廃棄物最終処分場処理水



江丹別川河川水

